

- 問1 太平洋ベルトと呼ばれる地域は、日本のどのあたりからどのあたりにかけて広がっていますか。
- 問2 昔と比べて、現代の日本の工業生産において「重化学工業」がとても重要になった一番の理由はなぜでしょうか。
- 問3 輸出が増えすぎることなどが原因で、外国との間で起こる問題のことを何といいますか。
- 問4 原料を輸入し、それをもとに作った製品を輸出する貿易のことを何といいますか。
- 問5 コンテナを使って荷物を運ぶことには、どのような良い点がありますか。
- 問6 日本が発展するうえで大きな役割を果たしてきた「加工貿易」とは、どのような貿易ですか。
- 問7 自動車の組み立て工場が、関連工場から部品を届けてもらうときに最も大切にしていることは何ですか。
- 問8 空き缶を一度溶かして、新しく生まれ変わらせる「リサイクル」の作業は、主にどの工業で行われる仕事でしょうか。
- 問9 港と港の間で船を使って荷物を運ぶ「船舶輸送」には、どのような特徴がありますか。
- 問10 関東地方の南部から九州地方の北部にかけて広がっている、工業がとてもさかんな地域のことを何といいますか。
- 問11 自動車工場で「流れ作業」を取り入れる一番の目的は何ですか。
- 問12 日本の工業において、全国にある工場の数のうち、ほとんど（約99パーセント）をしめているのはどのような工場ですか。
- 問13 現代の工業において、介護ロボットを組み立てたり、生活を便利にする製品を作ったりする工業が重要視されている一番の理由は何でしょうか。
- 問14 お米を原料にして、おいしいお菓子を作る工場は、どの工業の仲間に分類されるでしょうか。
- 問15 日本の工業において、工場数は全体の1%未満と非常に少ないのに、製品の出荷額（生産額）では全体の約半分という大きな割合を占めているのは、どのような工場ですか。
- 問16 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネットなど、情報を伝える手段のことを何といいますか。
- 問17 たくさんの荷物を、決まった時間に正確に運ぶことができる鉄道の輸送方法を何といいますか。
- 問18 外国との間で「貿易摩擦」が起こる主な原因は、どのようなことですか。
- 問19 日本と外国の間でやりとりされる「輸出入」において、輸送手段として船が中心的な役割を果たしている最大の理由は何ですか。
- 問20 働く人が300人未満の工場のごとで、すぐれた技術で日本の工業を支えている工場を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 関東地方の南部から九州地方の北部にかけて	太平洋ベルトは、関東地方の南部から九州地方の北部にかけて広がっている、工業のさかんな地域です。
問2	答え 機械をつくる技術が発達し、人々のくらしを支える製品がたくさん必要になったから	機械や金属、化学製品を扱う重化学工業は、時代の進歩とともに技術が大きく成長しました。私たちの生活に欠かせない自動車や電気製品などはこの工業によってつくられており、現代の日本経済の中心として、人々の豊かな生活を支える重要な役割を果たしています。
問3	答え 貿易摩擦	特定の国への輸出が急激に増えすぎることなどが原因で、相手の国との間で起こる経済的な対立や問題を貿易摩擦といいます。
問4	答え 加工貿易	原料を輸入して、国内で製品に組み立てたり加工したりしてから輸出する貿易を加工貿易といいます。
問5	答え いろいろな交通機関への積みかえが便利になる点	コンテナに荷物を入れて運ぶことで、船や鉄道、トラックなどのいろいろな交通機関への積みかえが便利になります。
問6	答え 原料を輸入し、それをもとに作った製品を輸出する貿易。	日本は資源が少ないため、原料を輸入して、それをもとに作った製品を輸出する加工貿易によって発展してきました。
問7	答え 組み立て工場の注文時刻に合わせて納入すること	組み立て工場の生産計画に合わせて必要なタイミングで部品を届けることで、工場内に部品を置く場所をとらず、効率的に自動車を組み立てることが可能になります。この仕組みが、自動車工業の効率的な生産を支えています。
問8	答え 金属工業	アルミニウムや鉄などの金属を使って製品を作ったり、使い終わった空き缶を再び使える資源に戻したりするのは「金属工業」の主な仕事です。資源をむだにせず、くり返し使うことで、環境を守る役割も果たしています。
問9	答え 一度にとっても大量の荷物を運ぶことができる	船は、飛行機やトラックと比べて、一度に非常にたくさんの荷物を積んで運ぶことができるという大きな特徴があります。そのため、重い工業製品や大量の原料を運ぶのにとっても適しています。
問10	答え 太平洋ベルト	関東地方の南部から九州地方の北部にかけて、工業がさかんな地域が帯（ベルト）のように連なっているため、太平洋ベルトと呼ばれています。
問11	答え たくさんの車を効率よく作るため	流れ作業は、それぞれの担当が自分の作業に集中して役割を分担することで、無駄を減らして短い時間で多くの製品を完成させるために考え出された仕組みです。
問12	答え 中小工場	日本の工場全体の約99パーセントは、従業員数が299人以下の中小工場です。数が非常に多いため、身近な製品を作る役割などを担っています。
問13	答え 人々の生活を助け、より豊かな暮らしにするため	機械工業は、単に機械を作るだけでなく、介護ロボットのように人々の体や心の負担を減らしたり、家事の時間を短くしたりすることで、私たちがより便利で豊かな暮らしを送れるように支えています。このように、現代の工業は人々の生活を助けるために、さまざまな技術を組み合わせで発展しています。
問14	答え 食料品工業	私たちの毎日の食事に関わるものや、飲み物、お菓子などを作る工場は「食料品工業」と呼ばれます。食料品工業は、農作物や水産物などの原料を加工して、私たちが食べやすい形にして届けるという大切な役割を担っています。
問15	答え 大工場	日本の工場は、全体の99%以上が中小工場ですが、大工場は数は全体の1%未満と非常に少ないにもかかわらず、製品の出荷額（生産額）では全体の約半分を占めています。大工場は、広い敷地や最新の機械を使い、多くの製品を効率よく生産しているためです。
問16	答え メディア（マスメディア）	テレビや新聞、インターネットなど、多くの人に情報を伝えるための手段をメディア（マスメディア）といいます。
問17	答え 貨物列車	鉄道を利用して工業製品などを運ぶ手段を貨物列車といいます。貨物列車は、一度にたくさんの荷物を運ぶことができ、交通渋滞の影響も受けにくいので、遠くまで決まった時間通りに荷物を届けることに適しています。
問18	答え 特定の製品などの輸出が増えすぎること。	貿易摩擦は、輸出が増えすぎることなどが原因で、外国との間で起こる問題のことです。
問19	答え 重い荷物や大量の荷物を効率よく運べるから	外国との貿易で運ぶ荷物は、重かったり量がとても多かったりします。船は一度にたくさんの荷物を運べるため、コストを抑えて安全に輸送することができます。日本の国際貨物輸送のほとんどが船で行われているのは、この効率の良さが理由です。

問20 答え
中小工場

働く人が300人未満の工場を中小工場といい、日本の工場の多くを占めています。
